Finale Version25 実用全ガイド 楽譜作成のヒントとテクニック・初心者から上級者まで

希請TF成のヒントとテクニック・初心省から上級省まで Windows&Mac スタイルノート楽譜制作部編



バージョン 25.5 差分

この PDF について

この PDF は、スタイルノートから発売されている書籍『Finale version25 実用全ガイド』(ISBN978-4-7998-0156-7)の発売後に発表された Finale のマイナーバージョンアップ版、バージョン 25.3、25.5 で追加さ れた機能を中心に、書籍の補足説明をしたものです。

バージョン 25.5 でも、全体的な操作方法等については『Finale version25 実用全ガイド』に書かれた内容 で制作をすることが可能ですが、新たに搭載された機能などを活用してみたいという方のために、差分ガイ ドとして制作しました。

この PDF をはじめてご覧になって、まだ書籍をご覧になったことがないという方は、ぜひ本編である『Finale version25 実用全ガイド』も手にしていただければ幸いです。

※『Finale version25 実用全ガイド』の詳細 https://www.stylenote.co.jp/bd/isbn/9784799801567/

CONTENTS

この PDF について	. 2
-------------	-----

第15章

finale25.5 で追加・改善された機能
1 表示に関する改善点
ステップ入力カーソルがレイヤー別にカラーで表示される・6
小節番号バーの表示・6
2 楽譜入力に関する改善点
拍子記号を入力する(Mac の場合)・7
Clear キーの代用キー(Mac の場合)・ 8
♯ 系、 ♭ 系間の転調時の調号前の打ち消しのナチュラルを非表示にする・8
実音表示のときもオクターヴ移調を保持する・9
囲み図形の角を丸くする・10
歌詞間のハイフンに使用するフォントやキャラクタを指定する・12
クレッシェンド(デクレッシェンド)の開き具合を調整する・13
反復記号括弧の終わりの位置を指定する・14
3 書き出し、再生に関する改善点
パート譜を MusicXML に書き出す・15
全パートをミュート (ソロ)・16
4 ReWire に関する改善点 17 17
RerWire モードで再生する・17
編集結果を再生データに反映させる・19

■この PDF で解説しているバージョンについて

この PDF は Finale のバージョン 25.5 の環境で執筆されています。その後のアップデートによって 仕様の変更や機能の追加が生じる場合もありますのでご了承ください。

■ Windows と Mac の操作の違いについて

Windows版とMac版では、キーボードの操作などに違いがあります。本書ではWindows版を例 に説明していますが、Windows版とMac版で画面やキーボード操作などが異なる場合は、それぞ れの場合を並記しています。使用するキー、またはメニュー名のみが異なる場合は、Macでの使用 キーやメニュー名を())で示しています。

Finale[®]は、MakeMusic, Inc. の登録商標です。 Windows および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国および、その他の国における商標または登録商標です。 Apple[®]、Mac[®]、Mac OS[®]等は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。 そのほかの会社名、製品名、サービス名などは各社の商標または登録商標です。

第15章 finale25.5で 追加・改善された機能





ステップ入力ツール♪ を選択した際に表示されるステッ プ入力カーソルが、選択しているレイヤーに割り当てられ た色で表示されるようになりました。

➡ 🏢 第2章 「ステップ入力」 p.99

マウス入力などの際に目安として利用する カーソルに表示される音符や休符も、選択しているレイヤー に割り当てられた色で表示されます。



ロビント ステップ入力カーソルに表示される縦棒は、 従来どおり、どの声部を選択している場合もピンク色で表 示されます。

[小節番号バー]

2 ファイル(F) 編集(L) ユーティリティ(L) 表示(V) 登録(C) MID/Audio(C) ツール(T) プラグイン(I)

· 本 内 本 ク 目 ♪ > H 小 C る V I W L T

Ø Finale · [名称未設定I]

60

0 7 0

ICI

0

J

J

4

小節番号バーの表示

スクロール表示やスタジオ表示の際、画面上部に小節 番号を示す[小節番号バー]を表示できるようになりまし た。[環境設定]画面で設定します。

➡ 前前第1章「スクロール表示」p.13、「スタジオ表示」p.14

〔手順〕

1 [環境設定] 画面を開く

[編集] メニュー([Finale] メニュー)から[環境設定] を選択して[環境設定] 画面を開き、左のリストから リストから[新規ファイル]をクリックして選択。

2 [小節バー] を表示する

[ウィンドウを開いたときの設定]欄で[表示]の[小 節番号バー]をクリックしてチェックをつける。

3 画面を閉じる

[OK] をクリックして画面を閉じる。

次に開くファイルから、スクロール表示、またはス タジオ表示を選択すると、画面上部に[小節番号バー] が表示されます。





拍子記号を入力する(Mac の場合)

Mac版では、拍子記号を入力する際に使用する[拍子記号]画面が改良され、より設定しやすくなりました。基本手順は変わりません。

➡ 前前 第1章 「拍子記号を入力する」 p.58

拍子記号を設定する際、分子にあたる[1小節内の拍数]欄では、□□に直接数値を入力、あるいは [∧] または [∨] クリックして設定します。

		拍子	記号	
0			混合拍子	選択項目を増やす ?
61	0	0 0 0	1 小節内の拍数:	4 0
•			拍の音符の種類:	o 全音符
変更する	5小節範囲			○ 小節の区切り直し
\bigcirc	1	小節目から 1 小節	目まで	
0	1	小節目から曲の終わりまで		
0	1	小節目から次の拍子記号変更まで	•	キャンセル OK

分母にあたる [拍の音符の種類] では、クリックするとリストが表示され、希望の音符が選択しやす くなっています。

			拍子記号		
61	0	0 0 0	混合拍子 1 小節内の拍数:	選択項目を増やす 3 4 C	
変更する	る小節範囲		拍の音符の種類:	 ✓ o 全音符 J 2分音符 	
0	1	小節目から曲の終わり	小町日から 小町日まで		
0	1	小節目から次の拍子記	号変更まで	16分音符	
				32分音符 付点2分音符	
				」 付点4分音符	
				」) 付点8分音符 ♪ 付点16分音符	
				,付点32分音符	

Clear キーの代用キー(Mac の場合)

バージョン 25.5 から、Mac で**Clear**キーのないパソコンキーボードをお使いの場合も、**fn**+**shift** +**delete**キーを押すことで、音符や休符をまとめて削除する、アーティキュレーションや発想記号な どの位置をリセットするといった、**Clear**キーの機能が使えるようになりました。

➡ 前3章 「まとめて削除する」 p.153



転調の際、新しい調号の前に表示される打ち消しのナ チュラルを、# 系と b 系の調号間で転調する場合に限定 して、表示するかどうかを選択することができるようにな りました。



➡ ■ 第1章「調号前の打ち消しのナチュラルを非表示にする(表示する)」 p.56

(手順)

1 [ファイル別オプション] 画面を開く

[書類] メニューから [ファイル別オプション] を選択して [ファイル別オプション] 画面を開き、左の リストから [調号] をクリックして選択。

2 # 系と > 系間の転調時に打ち消しのナチュラルを表示する

[無効となる変化記号にナチュラルで表示]をクリックしてチェックをつけ、すぐ下の[#系と > 系間 での転調時にも表示]をクリックしてチェックをはずす。

打ち消しのナチュラルを表示したい場合は、[# 系と > 系間での転調時にも表示] をクリックしてチェックをつける。

ファイル別オプション - 調号	
臨時記号 省略の記譜法 付点 コードネーム 音都記号 成 フィント 装飾音符 クリッド/ガイド	 □ 調号を最初の袋にのみ表示(F) □ / (長調/イ短調になる場合は段顎にナチュラルを表示(N) ○ 平行調への転調時にも調号を表示(M) ○ 無効となる変化記号にナチュラルで表示(0) (○ 無効となる変化記号にナチュラルで表示(0) (○ # 系と) 系間での転調時にも表示(l) ○ 段末に調号の予告を表示(K)
調ち レイヤー	✓異名同調の簡略表記を行う場合にオクタープ関係を保持(W)
直線/曲線 歌詞 長休符	調号の前の間隔(B): 0.10583 & ↔ ↓ ↓

画面を閉じる

[OK] をクリックして画面を閉じると、# 系と > 系の調号間で転調する際の打ち消しのナチュラルが非 表示になる(または表示される)。

実音表示のときもオクターヴ移調を保持する

移調楽器の実音と記譜音の切り替えは、メニューから選択するだけで簡単におこなえます。

さらに、実音表示の際には、ピッコロやコントラバス、ギターなどのようにオクターヴ移調して記譜す るように設定されている楽器だけは、そのまま移調せずに表示することができます。これなら、たくさん の加線に苦労することもなくなりますね。

➡ 前 第1章 「移調楽器の設定を変更する」 p.41



1 実音、記譜音を選択する

実音で表示(入力)したい場合は、「書類]メニューから「移調楽 器を実音で表示〕を選択してチェックをつける。

「移調楽器を実音で表示」のチェックをはずすと、記譜音で表示(入 力) される。

ローント 選択するたびに、チェックがついたりはずれ たりします。

2 オクターヴ移調を保持する

実音で表示する際に、オクターヴ移調の楽器を記譜音のまま表示 したい場合は、さらに「書類」メニューから「実音表示時にもオ クターブ移調の状態を保つ]を選択してチェックをつける。

(記譜音)

1 [移調楽器を実音で表示]

パート譜で表示。 データ・チェック(_) ✓ 移調楽器を実育で表示(I) 実音表示時にもオクタープ移調の状態を保つ(の) パート譜反復記号をプレビュー(E) 編集中のレイヤーのみ表示(A) Shift+Alt+S プレイパック・オプション(Y)... 同期とムービーのオプション(い)... 発想記号カテゴリの設計(G)... 小節番号の範囲を編集(N)... 弱起の設定(<u>K</u>)... 記譜用フォントの指定(U)... ファイル別オプション(D)... Ctrl+Alt+A

音類(O) MIDI/Audio(D) ツール(T) プラグイン(I) 変形図形(S)

スコア譜の編集(S)

/(-ト譜の編集(P) パート譜の管理(<u>M</u>)...

ページ・フォーマット(E)

[移調楽器を実音で表示]

2 [実音表示時にもオクターブ移調の状態 を保つ]





囲み図形の角を丸くする

発想記号ツール
『で作成した記号や小節番号、また文 字反復記号は、□や○などの図形で囲むことができます。 バージョン 25.5 では、これらの囲み図形の角を丸くする ことができるようになりました。



ここでは発想記号ツール 『で作成した記号の場合を例に説明しますが、[小節番号]の場合は[小節 番号] 画面の [囲み図形] 欄で、文字反復記号の場合は [文字反復記号の作成] 画面の [枠で囲む] 欄 で同様に操作できます。

➡ 前1章「小節番号を図形で囲む」p.90



1 ツールを選択する

[メイン・ツール・パレット]から発想記号ツール "f を選択。

2 [発想記号の設計] 画面を開く

あらたに入力する場合は、入力位置をダブルクリックして [発想記号の選択] 画面を開き、カテゴリを選 択し、図形で囲みたい記号をクリックして選択、[編集] をクリックして [発想記号の設計] 画面を開く。

➡ 第6章「発想記号入力の基本手順」p.238、「強弱記号を新規に作成する(カテゴリ設定に沿って新規作成する)」p.250

すでに入力してある記号を図形で囲みたい場合 は、記号に表示される□を右クリックして、表示 されるメニューから[文字発想記号定義の編集] をクリックして[発想記号の設計]画面を開く。

3 囲み図形の形を選択する

[囲み図形] 欄右の [なし] をクリックすると表示されるリストから、囲み図形の形をクリックして選択。

4 [囲み図形作成] 画面を開く

[囲み図形] 欄右の[編集] をクリックして、[囲 み図形作成] 画面を開く。



5 図形の詳細を設定する

[線幅] 欄で図形に使用する線の幅を指定する。 必要に応じて、左のプレビューに表示される□をドラッグして、 図形のサイズを調整する。 [図形サイズ固定] をクリックしてチェックをつけると、テキス

トの大きさに関わらず、[高さ] と[幅] 欄で図形のサイズを指 定することができる。

とフト 数値の最後に単位の頭文字(スペースなら 「s」、センチメートルなら「c」など)を入力すると、[計 測単位]での設定にかかわらず、強制的に任意の単位で指 定することができるようになります。

6 図形の角を丸くする

[角を丸くする]をクリックしてチェックをつけ、[角の半径]に任意の値を入力。

	[角の半径]	の値が大きくなるほど、	角が丸く
なります。			

1 注意!!	[角の半径] に設定 ⁻	できるのは	、図形	の高さの
半分の値まて	です。そ	れ以上の値	直を入力し	ても、	角の丸さ
は変わりませ	た。				

囲み図形作成	×
	図形(S): 長方形 ✓ 首号を短す(P) 線幅(L): 0.01998
Ā	☑角を丸くする(C) 角の半径(R): 0.25 高さ(E): 0.5 左右位置調整(H): 0 幅(W): 1.5 ベースライン調整(V): 0
	オブション(0): 最小幅の保持 図形サイズ固定(F)
OK	キャンセル ヘルプ

7 画面を閉じる

[OK](または[配置])をクリックしてすべての画面を閉じると、指定した図形で囲まれた記号が入力 される(または、選択していた記号が指定した図形で囲まれる)。

▲ 2 注意!! [発想記号の選択] 画面では、指定した囲み図	
形は表示されません。楽譜に入力すると図形が表示され、	
確認できるようになります。	



歌詞間のハイフンに使用するフォントやキャラクタを指定する

歌詞の音節間に挿入されるハイフンに使用するキャラクタを自由に指定することができるようになり ました。

➡ 前 第4章 「音節間に挿入するハイフンの調整」 p.219



1 ツールを選択する

[メイン・ツール・パレット]から歌詞ツール 🖌 を選択。

2 [ファイル別オプションー歌詞] 画面を開く

[歌詞]から[歌詞オプション]を選択し、[ファイル別オプション-歌詞]画面を開く。

3 フォントを指定する

ハイフンに歌詞とは異なるフォントを使用したい場合は、[ハイフンに別のフォントを使用]をクリック してチェックをつけ、右の[選択]をクリックすると開く画面で、フォントやサイズを選択。

[OK] をクリックして画面を閉じ、[ファイル別オプション-歌詞] 画面に戻る。

4 ハイフンに使用するキャラクタを指定する

[ハイフンに使うキャラクタ]右の[選択]をクリックすると開く[キャラクタの選択]画面で、使用したいキャラクタをダブルクリックして選択。

[ファイル別オプション-歌詞] 画面に戻る。

i時記名 i略の記譜法	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	位置合わせ	文字揃え		
寸点 小節線	□ 音引き線付きのシラブル(W):	左揃え ~	左揃え ~		
桁 -ドネーム	☑ 歌詞の最初のシラプル(F):	中央揃え ~	左揃え ~		
部記号	☑ 組設の最初のシラブル(S):	中央揃え ~	左揃え ~		
ォント 長飾音符	その他:	中央揃え ~	中央揃え ~		
ブリッド/ガイド 周号	✓ 約物を位置合わせの対象にしない(0			
ノイヤ− 直線/曲線	対象にしない約物(P):		; ""		
烈詞 見休符	ハイフンの設定				
ハーンフリ 『符/休符	✓ 自動ハイフンを使用(U)				
ループ括弧 豆須記品	直前の組設の最後のシラプルにハイ	「フンが付く場合の段頭の	ハイフンの処理		
温設	⑦ つねに付ける(L)				
守尾	○ 最初の音符にシラブルが付か	かない場合のみ付ける(0)	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i		
5475 74	〇 つねに付けない(N)				
由子記号 連符	バイフンに使うキャラクタ(H): -	選択(E)	ハイフン同士の間隔の上	麋(M): 1.27	
		選択(つ)			

5 画面を閉じる

[OK] をクリックして画面を閉じると、歌詞間のハイフンがすべて指定したキャラクタに置き換わる。

(^{™)}
 2523
 27
 (文字) メニューを使ってシラブルに挿入した
 ハイフンには、ここでの変更は適用されません。

クレッシェンド(デクレッシェンド)の開き具合を調整する

クレッシェンドやデクレッシェンドの開き具合は、自由に調整することができます。

さらに、指定した一定の長さを境目に、2パターンの開き具合を設定することができます。より短いク レッシェンド(デクレッシェンド)の開き具合を少し大きめに設定しておくけば、極端に短いクレッシェ ンド(デクレッシェンド)も、視認しやすくなります。

➡ 🔰 第6章 「クレッシェンド(デクレッシェンド)の開き具合を調整する」 p.270

手順

1 ツールを選択する

[メイン・ツール・パレット]から**変形図形ツール <**を選択。

2 [変形図形オプション] 画面を開く

[変形図形] メニューから [変形図形オプション] を選択し、[変形図形オプション] 画面を開く。

3 単位を選択する

[計測単位] 欄右をクリックすると表示されるリストから、単位を選択。

4 境界とする長さを設定する

[クレッシェンド/デクレッシェンド]欄の[幅の切り替えの境界となる長さ]右の[]に、境界とする 長さを入力する。

ビント 設定した長さ以下のクレッシェンド(デクレッシェンド)では、一番上の [開いている側の幅] で設定した値の開き具合になります。

5 開き具合を調整する

[開いている側の幅] 右の□ に、手順4で設定した長さ以下の短いクレッシェンド(デクレッシェンド) の開き具合を設定する。

[開いている側の幅(長め)]右の□□に、手順4で設定した長さより長いクレッシェンド(デクレッシェンド)の開き具合を設定する。



6 画面を閉じる

[OK] をクリックして画面を閉じると、楽譜内のすべてのクレッシェンド(デクレッシェンド)の開き具 合が、手順4で設定した長さを境目に、指定した幅になる。

反復記号括弧の終わりの位置を指定 する

反復記号括弧の終わりの位置をあらかじめ指定してお くことができます。これにより、反復記号括弧を入力した あとに位置を調整する手間が省けます。

➡ 前6章 「反復記号括弧の長さを調整する」 p.280



1 ツールを選択する

[メイン・ツール・パレット]から**反復記号ツール** # を選択。

2 [反復記号括弧の設定] 画面を開く

[反復記号] メニューから [反復記号オプション] を選択すると [ファイル別オプションー反復記号] 画 面が開くので、右下の [反復記号括弧の設定] をクリックして [反復記号括弧の設定] 画面を開く。

3 反復記号括弧の終わりの位置を指定する

[終了反復記号括弧の位置]で、[内側の細い小節 線上]または[外側の太い小節線上]をクリック して選択。 ▶ [内側の細い小節線上]を選択し、[括弧の終点位置]を「0」にしておくと、2番括弧の左端と重なることがなく、きれいに配置され、あとから両端の位置を調整する手間が省けます。

選択した位置にぴったりとそろえたい場合は、[反復記号の括弧]欄の[括弧の終点位置]右の[]に[0] を入力しておく。

4 画面を閉じる

[OK] をクリックして画面を閉じると、楽譜内のすべての反復記号括弧の終わりの位置が、手順3で設定した位置になる。

レンジン 21日1年 反復記号 組織	反復記号括弧の設定	上側の付点(U) 0
符尾 テキスト タイ 中子記号	反復記号の括弧 括弧の高さ(5): 0.97014 ホ平位置(2): 0.10583 たかまでの目代(1): 0.52012	下側の付点(L) 0
連符	2003年の時代(1): 003317 単位(1)(位(0): 003026 右の力半の長さ(H): 0 線幅(T): 002205	復記号括弧内の数字にビリオドを加える(M) い節線の付点のキャラクタ:
	括弧の始点位置(S): -001764 括弧の終点位置(E): 0	1回数の上限: 20
		反復記号括弧の設定()
<u>へ</u> ルプ ライ:	OK キャンセル リセット(R) ヘルプ	OK キャンセル 適用(A)

3 書き出し、再生に関する改善点

パート譜を MusicXML に書き出す

スコアだけでなく、リンクしたパート譜をそれぞれ個別に MusicXML に書き出すことができるよう になりました。またバージョン 25.5 では、MusicXML の最新バージョン 3.1 に対応しました。

➡ 前 第 11 章 [3 | MusicXML] p.408、第 12 章 「パート譜に切り替える」 p.443

手順

1 ファイルを開く

パート譜を MusicXML に書き出したいファイ ルを開いておく。

2 メニューを選択する

[ファイル] メニューの [エクスポート] から [MusicXML(リンクしたパート譜)] を選択。

3 保存場所を指定する

開く画面で、保存場所を指定する。

4 MusicXML に書き出す

[開く] をクリックすると、「この操作は既存 の MusicXML ファイルを〜」という警告画 面が開くので「はい」をクリックすると、指 定した場所に、パート譜がそれぞれ個別に MusicXML ファイルとして書き出される。

ピント 書き出された MusicXML のファイル名は、自動で「(元のファイル名) - パート譜○ - (パート名)」と振られます。○には、上から順に番号が当てられます。

ファイル(F) 編集(E) ユーティリティ(L)	表示(V) 君類(C) MIDI/Audio(D) ツール(T) プラグイン(I)
起動パネル(<u>W</u>) 新規作成(<u>N</u>)	Ctrl+Shift+N ▶	r ^{3™}
聞く(<u>0</u>) ワークシート/サンプルを開く(<u>K</u>)	Ctrl+0	▶ ● ● 反復開始回: 1 ∨ タイム: 00:0
閉じる(<u>○</u> すべて閉じる(<u>L</u>)	Ctrl+W	
上書き保存(<u>5</u>) 名前を付けて保存(<u>A</u>) すべて上書き保存(<u>V</u>) パート譜を別ファイルとして書き出し(<u>E</u>)	Ctrl+S	
復帰(R) ファイルの統合(G) インポート(I)		
エクスポート(エ)	•	オーディオファイル(<u>A</u> .)
ライブラリを開く(<u>B</u>) ライブラリを保存(<u>Y</u>)		EPUB(<u>E</u>) Finale 2012ファイル(<u>E</u>)
ページ設定(<u>U</u>) 印刷(<u>P</u>) PostScriptファイル作成(<u>M</u>)	Ctrl+P	スタンダードMIDIファイル(<u>M</u>) PDF(<u>P</u>) SmartMusicR(<u>S</u>)
環境設定の保存(<u>F</u>) 終了(<u>X</u>)	Alt+F4	MusicXML(X) MusicXML(リンクした/(ート譜)(L)
		MusicXML 初期設定(E)
())注意の ロンク	したパート	逆のたいぶ逆でけ パート

(*)注意見 リンクしたパート譜のない楽譜では、パート 譜作成の手順が示されるので、パート譜を作成してからお こないます。

全パートをミュート (ソロ)

[スコア・マネージャー]では、全パートをミュート、またはソロに設定する際も、1クリックでOKです。 ⇒ ■ 第9章 「プレイバックする五線を指定する」 p.356

手順

1 [スコア・マネージャー] 画面を開く

[ウィンドウ] メニューから [スコア・マネージャー] を選択し、[スコア・マネージャー] 画面を開き、[楽 器リスト] タブをクリックして選択。

2 全パートをミュート (ソロ) に設定する

ミュートにしたい場合は [M] を、ソロに設定したい場合は [S] をクリック。

すべての五線の [M] (または [S]) 欄に●が表示され、ミュート(またはソロ)になります。

・マネージャー		\ /		
ル椿報 楽器リスト				
楽器	/(M S F/(12	音色	パンク Ch.
י צאסם	▼ Piccolo	SmartMusic SoftSynth	- Piccolo	▼2 ▼ 1 X
コフルート	▼ Flute 1	SmartMusic SoftSynth	✓ Flute	▼ 2 ▼ 2 X
■ フルート	▼ Flute 2	SmartMusic SoftSynth	✓ Flute	▼ 2 ▼ 3 X
■ オーボエ	▼ ▼ Oboe	SmartMusic SoftSynth	- Oboe	▼2 ▼ 4 X
= イングリッシュ・ホルン	▼ English Horn	SmartMusic SoftSynth	 English Horn 	▼2 ▼ 5 X
:クラリネット in Eb	👻 🔻 Clarinet in Eb	SmartMusic SoftSynth	 Clarinet 	▼2 ▼ 6 X
・クラリネット in Bb	▼ Clarinet in Bb 1	SmartMusic SoftSynth	✓ Clarinet	▼2 ▼ 7 X
⊧ クラリネット in Bb	▼ Clarinet in Bb 2	SmartMusic SoftSynth	✓ Clarinet	▼ 2 ▼ 8 X
and the state of the state				
樂寶這加(A)	柔恭配道(O) オーケストラ	~		表示項目
瞿択楽器の五線設定				
正式五線名(U) Tuba		記譜スタイル	↓(N): 標準 、	· 設定(E)
			□ h5- 答頭を使用(∩)	設定の
				64 AL 11/1
省略五線名(B) Tuba		移調楽	器(T) なし	~
			□ 調号を使わず臨時記号表	記にする(H)
▽パートの序数表記(Y):	[座発]123 ∨	て始め種が	(F) 43.65 +5 〒 3.5	
☑ パートの序数表記(Y):	[進発] 123 🗸	UNA Tana		記にする(H)
	Lesses was	11.48(0)(至)	(1) — IX H 1/4 五 38	~



RerWire モードで再生する

DAW のテンポに追従するかどうかを選択する

ReWire モードで Finale が起動している場合に、マスターとなる DAW のテンポに追従するかどうか を選択できるようになりました。

➡ 前 第9章 「ReWire モードでプレイバックする」 p.375

手順

1 [プレイバック設定] 画面を開く

[ウィンドウ] メニューの [プレイバック・コントローラー] にチェックをつけて、[プレイバック・コントローラー] を開き、右端の [プレイバック設定] をクリックして [プレイバック設定] 画面を開く。

Mac の場合

左下の [▶] をクリックしてオプション画面を開く。

Windows の場合	
こ 州 《 ■ ▶ Ⅱ ● ▶ ₩ 1110000 🛟 反復開始回: 1 🗸 タイム: 00:00:00.000	
	↑
	1 [プレイバック設定]
Mac の場合	
● ○ ● プレイバック・コントローラー	
小節: 1 1 0000 🗘 タイム:00:00:00.000 🕒	
Y	
Ť	
1	

2 「ReWire マスターのテンポに追従する」 にチェックを入れる/外す

DAW のテンポに追従する場合

[ReWire マスターのテンポに追従する] にチェックをつける。

ReWire 接続している DAW のテンポに追従するようになります。DAW 側の動きにあわせて Finale の 楽譜表示を同期させる場合(ReWire 接続する場合)などはチェックをいれておく。 第 15 章

DAW のテンポに追従させない場合

[ReWire マスターのテンポに追従する] のチェックをはずすと、ReWire モード時であっても、Finale の [プレイバック・コントローラー] (テンポを含む)の使用が可能になる。

ReWire マスターのアプリケーションが同時に起動していても、Finale 独自のプレイバックをおこなえます。

Windows の場合	Mac の場合
プレイパック設定 ×	プレイバック・コントローラー
○ 楽譜をスクロールする(S) □ PeWreマスターのテンポに当能する) Human Playbackスタイル(A): スタンダード HP初期設定(N)_ スウィング(M): 0 スウィング値(V) ▼ ペロシティの初期値(K): 64 ● ブレイドシッ範囲 ブレイ終了: ● ブレイ開始: ブレイ終了: ● 反復期始回(P): 1 ○ ○ 原復期始回(P): ● ○ ○ 原復期始回(P): ● ○ ○ 原復期始回(P): ● ○	 小節: 1110000 ○ タイム:00:00:00000 ● 反復開始回: 1 ○ ○ HH HH ● ● ● HH 梁厳をスクロールする ■ ReWireマスターのテンポに追従する Human Playback® スタイル: スタンダード ● スワイング効果: 0 ○ HP初期設定 デンポ: 4分音符 ○ = 120 ○
 ○ 囲田表示の一番ない ○ 選択式わている小筋(c) □ MIDL/オーディオファイルの保存時にも指定範囲を適用する(R) 	
時間の表示形式: ④hhmmssnmm(時間/分/秒/ミリ秒)(H) 〇 フレーム(F) グリック音とカウントオフ(0 ブレイパック・オブション(0)	Finale 以外の音楽ソフトも利用している場合 に、意図せず ReWire モードになってしまいプレイバック できなくなった場合や、思わぬテンポで再生されてしまう 場合にも有効な設定です。
	⁽¹⁾ 注意型 このメニューは、Finale を Rewire モードで お動したときにのみ、表示されます

3 画面を閉じる

[OK] をクリックして画面を閉じる。

Mac の場合

手順1でクリックした [▶] が [▼] になっているので、この [▼] をクリックすると、オプション画面 が閉じる。

ReWire モードでプレイバックする

ホスト DAW でデータを再生すると Finale も同 期して再生されます。巻き戻しや早送り、再生位 置などもホストに追従します。

【 ¹¹ 注意!!】[ReWire マスターのテンポに追従する]の
チェックがはずれていると、Finale 独自の拍子やテンポが
有効になります。そのため、マスター DAW とは時間軸が
ずれてプレイバックされてしまいます。

既存の Finale ファイルが思った音色でプレイバックされない場合は、[プレイバック・コントローラー] に表示される [Sync] ボタンをクリックすると再生データが更新され、問題が解消する場合があります。

Windows の場合

2	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	1 1 0000 🗘 反復開始回:	1 ~ 外仏: 00:00:00.000	÷ 🖌 =	120
---	---	-------------------	----------------------	-------	-----

Mac の場合

小節:	1 1 0000	0	タイム: 00:00:00.000						
反復開始回	: 1 0	3)	H	-			•	*	₩

○ ○ 注意理 Mac の場合、Finale を Rewire モードで起動 したときにのみ、[Sync] ボタンが表示されます。

編集結果を再生データに反映させる

ReWire モード時に Finale の楽譜データを編集した場合は、編集結果を再生に反映させる必要があり ます。その際に使用するボタンのデザインと名称が変更されています。

手順

1 編集内容をプレイバックに反映させる

Finale の [プレイバック・コントローラー] で [Sync] ボタンをクリック。 「アレイバック・コントローラー」が表示されていない場合は、Finaleの[ウィンドウ]メニューから[プレイバック・コントローラー]にチェックをつけます。

Windows の場合

□ 🕊 🕊 ■ ▶ 11 ● ≫ ₩ 1110000 💠 反復開始回: 1 🗸 タイム: 00:00:00.000 🛊 🚽 = 120 🚔 🔩

Mac の場合

● ○ ● プレイバック・コントローラー									
小節:	1 1 0000	タイム: 00:00:00.000							
反復開始回	: 1 💿	3	M	•			•	*	₩

企業課題 Mac の場合、Finale を Rewire モードで起動 したときにのみ、[Sync] ボタンが表示されます。

2 再生して更新を確認する

ホスト DAW でプレイバックすると、更新された内容で演奏される。

 ビント 音符データだけでなく、音色変更などのあと にも、同様に [Sync] ボタンをクリックします。

● Finale についてのお問い合わせ先●

Finale の操作方法や不具合などに関するご質問は、ソフトに付属の「スタートガイド」に記載されている「株式会社エムアイセブンジャパン Finale カス タマーサポート窓口」までお問い合わせください。

Finale に関するその他の情報は、下記ホームページをご参照ください。

➡ <u>https://www.finalemusic.jp</u>

この PDF は、スタイルノートから発売されている書籍『Finale version25 実用全ガイド』 (ISBN978-4-7998-0156-7)の発売後に発表された Finale のマイナーバージョンアップ版、バー ジョン 25.3、25.5 で追加・改善された機能を中心に、書籍の補足説明をしたものです。

 フィナーレ バージョン じつようぜん

 Finale version25 実用全ガイド 〈version25.5 差分〉

 ※ 血炎(ボ)

 薬油作成のヒントとテクニック・初心者から上級者まで

 発行日●2018年12月19日 第1版

 編 者●スタイルノート楽譜制作部

 発行所●株式会社スタイルノート

 〒185-0021

 東京都国分寺市南町2-17-9 ARTビル5F

 電話 042-329-9288 (Finale に関するお問い合わせは、上記をご確認ください)

 E-Mail books@stylenote.cojp

 URL https://www.stylenote.cojp

協 力●近藤隆史

© 2018 Stylenote Inc. Printed in Japan 書籍 ISBN978-4-7998-0156-7

本書の内容に関する電話でのお問い合わせには一切お答えできません。メールあるいは郵便でお問い合わせください。なお、返信等 を致しかねる場合もありますのであらかじめご承知置きください。 本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部または一部のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製や二次使用は著作権法上 での例外を除き禁じられています。また、購入者以外の代行業者等、第三者による本書のスキャンやデジタル化は、たとえ個人や家 庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。